



超円高に思う

超円高

一時は一ドル七六円台まで円高が進んだ。日本経済が好調で輸出が増え続けると、円高になり、輸出が調整される……と云うのが普通。

しかし、今は、東日本大震災の津波被害、原発事故で日本経済は大変なのに、どうして円高？ それは何と米国政府の債務残高が十四兆ドル(一一五兆円)になり、法定債務の上限に達しそうになり、「米国債が償還されなくなる」のでは……とドル売り円買いで円が高騰。

でも日本の国債発行残高は八七五兆円。米国より本当は深刻。

巨額の借金

でも、どうしてそんなに巨額な借金ができる

のか？ どうしてそんなに巨額の金を貸せる人がいるか？ 不思議だ。

生産現場は貧しい

ヘッジファンドなどは、巨額な金を動かして、儲ける。でも、彼らはその富を作り上げた訳ではない。富を作り上げたのは、一生懸命、地に這いつくばって生産をしている労働者、農民。生産現場に近ければ近いほど貧しくて、逆に離れば富んでいる。

富の配分がおかしい？

ソフトバンクの孫さんは百億も寄付すると話題になったが、そんな巨額の金が一個人に集中する社会の仕組みがおかしいのではありませんか？ 皆さんはどう思われますか？

洗足池



洗足池は、東京大田区の北部にある広さ四万平メートルの池。貸しボートを楽しむことができる。春は桜の名所だ。

元々周辺には「千束」を冠した名前が多い。のちに、日蓮が池のほとりで休息し足を洗ったという言い伝えが生まれ「洗足池」となると云う。

幕末、江戸総攻撃の為、西郷隆盛は芝増上寺に本陣をおいた。戦乱になって江戸の町が焼け野原になるのを憂えた幕府の軍事総裁の勝海舟は、西郷隆盛に江戸城無血開城の談判に向かった。

その途中、この洗足池のほとりで休息した。この池の風光明媚に感動した勝が移住。勝海舟夫妻の墓もこの池のほとりにある。